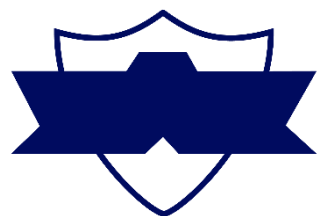


大館市観光キャラクター
「はちくん」

事業報告

林業成長産業化地域創出モデル事業 の5年間の取組について



大館市 市章



林業成長産業化協議会
シンボルマーク

大館市産業部林政課木材産業係 千葉 泰生
(大館北秋田地域林業成長産業化協議会 事務局)

目次



「めるちゃん」

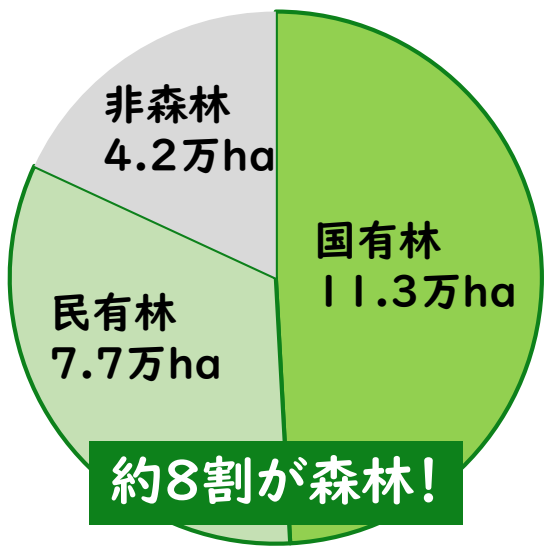
- 1 地域の概要
- 2 主な取組と成果
- 3 これからの取組
- 4 最後に

大館北秋田地域の概要

● **大館市**、**北秋田市**、**上小阿仁村**からなる地域で、森林率が高い



秋田県内における大館北秋田地域の位置



大館北秋田地域における森林の面積割合

● 秋田スギの産地として知られ、古くから林業や木材加工業が盛んな地域
 → 曲げわっぱ、桶樽、製材、集成材

秋田県大館市の概要



大館市

図1 位地図 (出典: 国土地理院)

- **森林率79%**
- 国有林約4万ha、民有林約3万ha
- 古くから**秋田スギ**の主要な産地



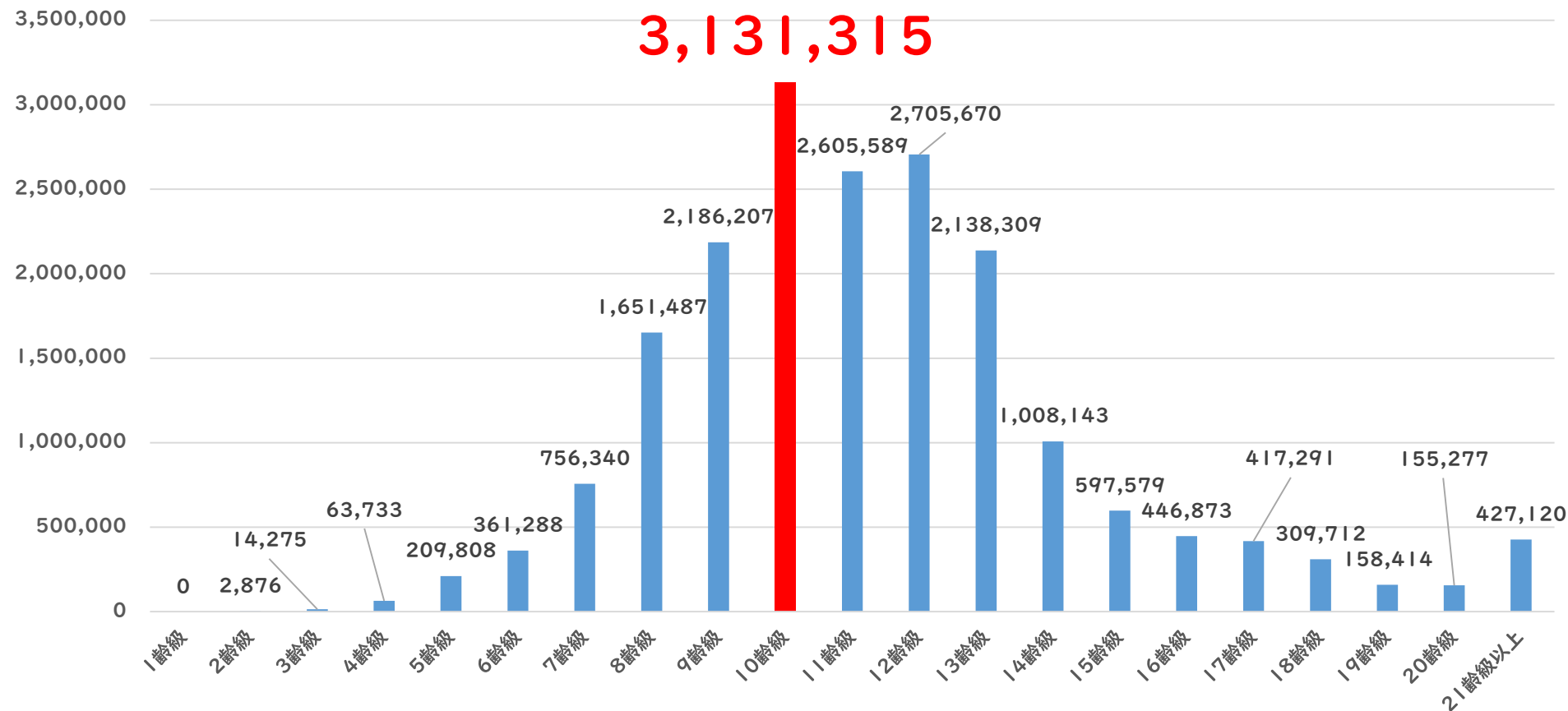
図2 大館市位置図 (出典: 大館市都市計画マスタープラン)



MADE IN **オオダテ**

取組開始前の課題①

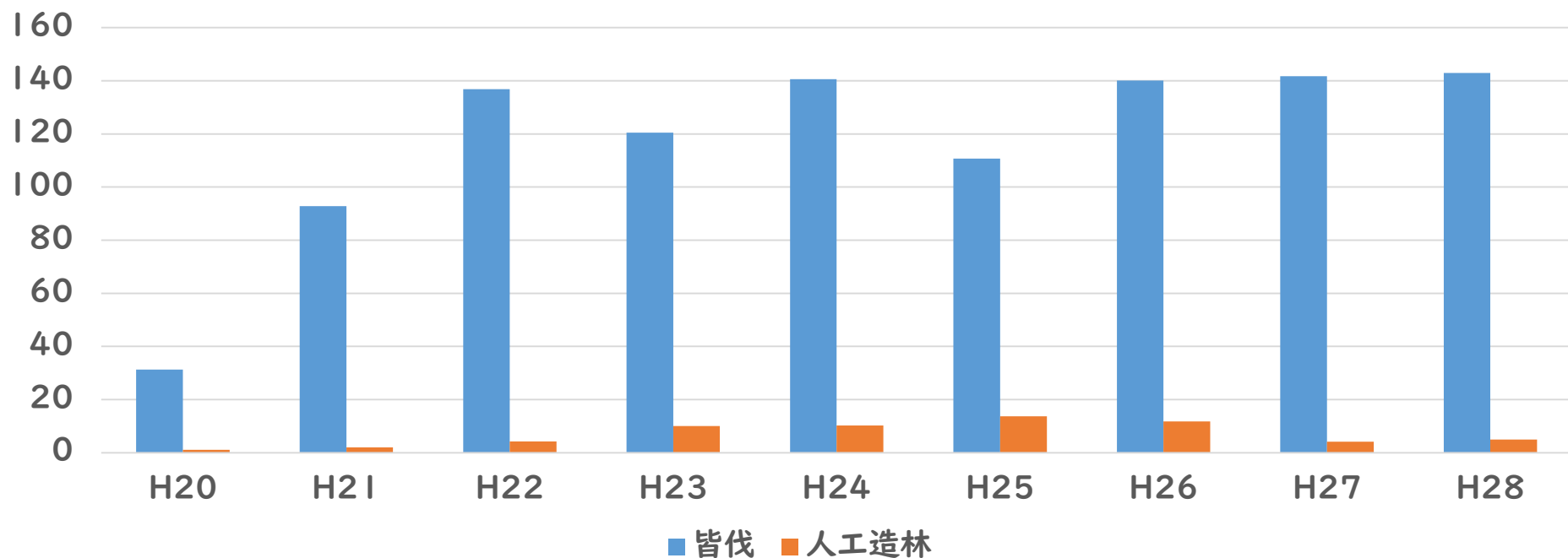
「秋田スギ」「蓄積が豊富」などの
特徴を活かせていない



大館北秋田地域の年齢別蓄積量 (単位:m³、H30年度版秋田県林業統計)

取組開始前の課題②

民有林では皆伐後の**再造林率が低く**、
将来の木質資源を生み出せない

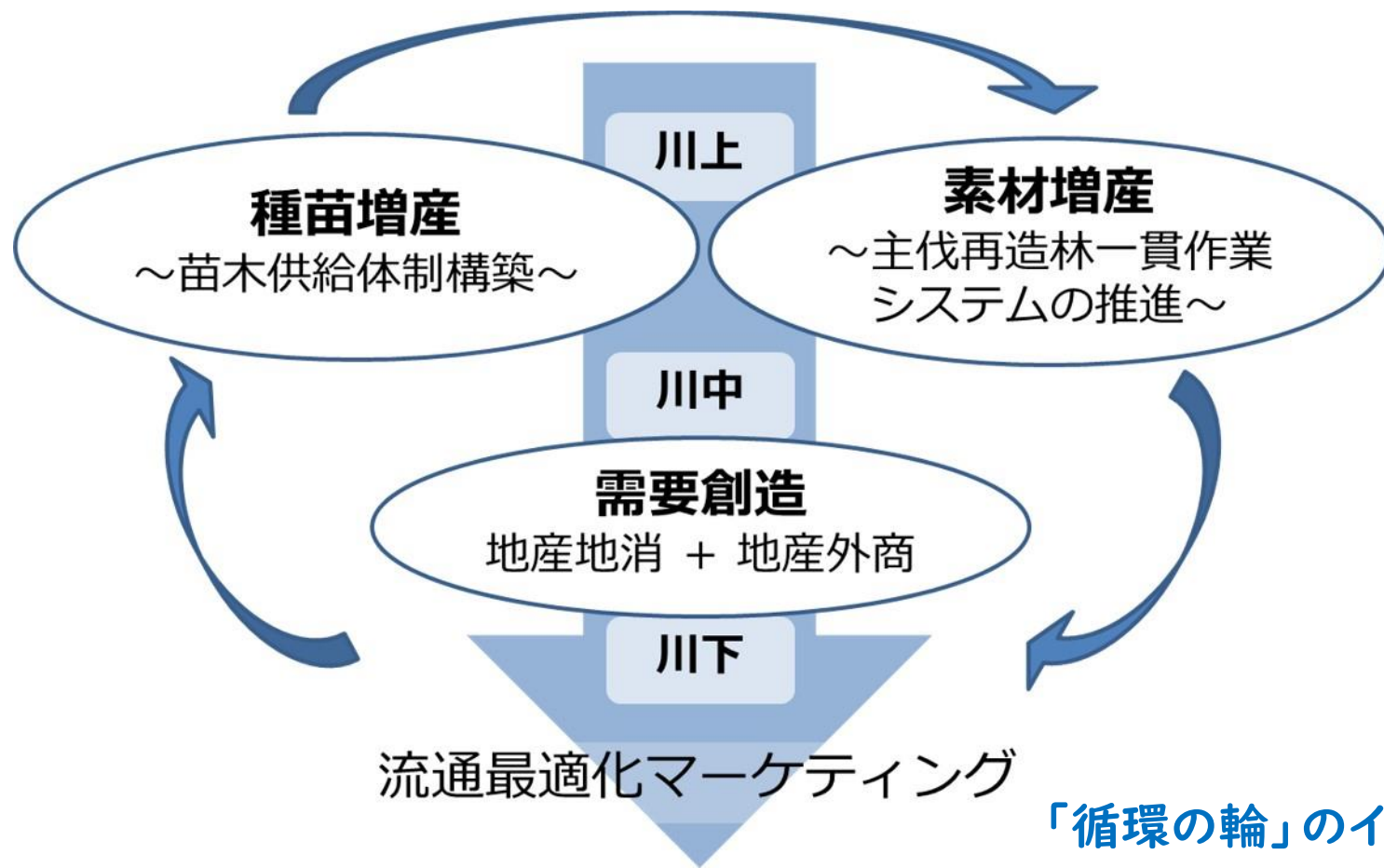


施業種	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
皆伐ha	31	93	137	121	141	111	140	142	143
人工造林ha	1	2	4	10	10	14	12	4	5
造林率	3%	2%	3%	8%	7%	12%	8%	3%	3%

大館市における伐採造林の状況 (H20~28)

取組テーマ：キャッチフレーズ

秋田スギのふるさと、**ふたたび**
～産地の**復活**と森林資源**循環**～



重点プロジェクト

分野共通

- 参画者協議会の設立・運営
- 林業従事者雇用創造プロジェクト

川上分野

- 主伐・再造林一貫作業システム推進プロジェクト
- 苗木増産プロジェクト
- 森林経営確立に向けた長期ビジョン策定プロジェクト
- 伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」適材木供給・育成プロジェクト
- 森林整備計画推進プロジェクト

川上・川中分野

- 森林認証・CoC認証取得プロジェクト
- 「あきたの極上品」等秋田スギ利活用プロジェクト

川下分野

- 木質バイオマス利用促進プロジェクト
- 「循環の輪」プロモーションプロジェクト

H29～R3年度の5年間で各プロジェクトを実行

2 主な取組と成果



参画者協議会の設立

「大館北秋田地域林業成長産業化協議会」 設立

→2市1村が事務局

学識経験者、川上から川下までの林業事業体等が参画
米代東部森林管理署、上小阿仁支署と秋田県はオブザーバー

各分野の課題に対応する
4部会を設置

総務部会

再造林推進部会

秋田スギ・認証材利用促進部会

木質バイオマス利用促進部会



協議会設立総会の様子

左から北秋田市長、大館市長、上小阿仁村長

参画者協議会の運営

地域の課題・問題点の洗い出し、対策の立案（部会の開催）



各自が考える課題・問題点を
付箋に記入し、全体で共有

H30～R3年度に取り組むロードマップを作成（H29）

川上～川下連携（公有林の活用）

「森林経営及び木材販売に係る協定書」締結（H30）

→協議会と大館市による協定締結：対象森林面積116.76ha

協議会へ大館市有林の一部を
施業フィールドとして提供

川上から川下の事業者の
連携による地元産材の
供給体制を構築

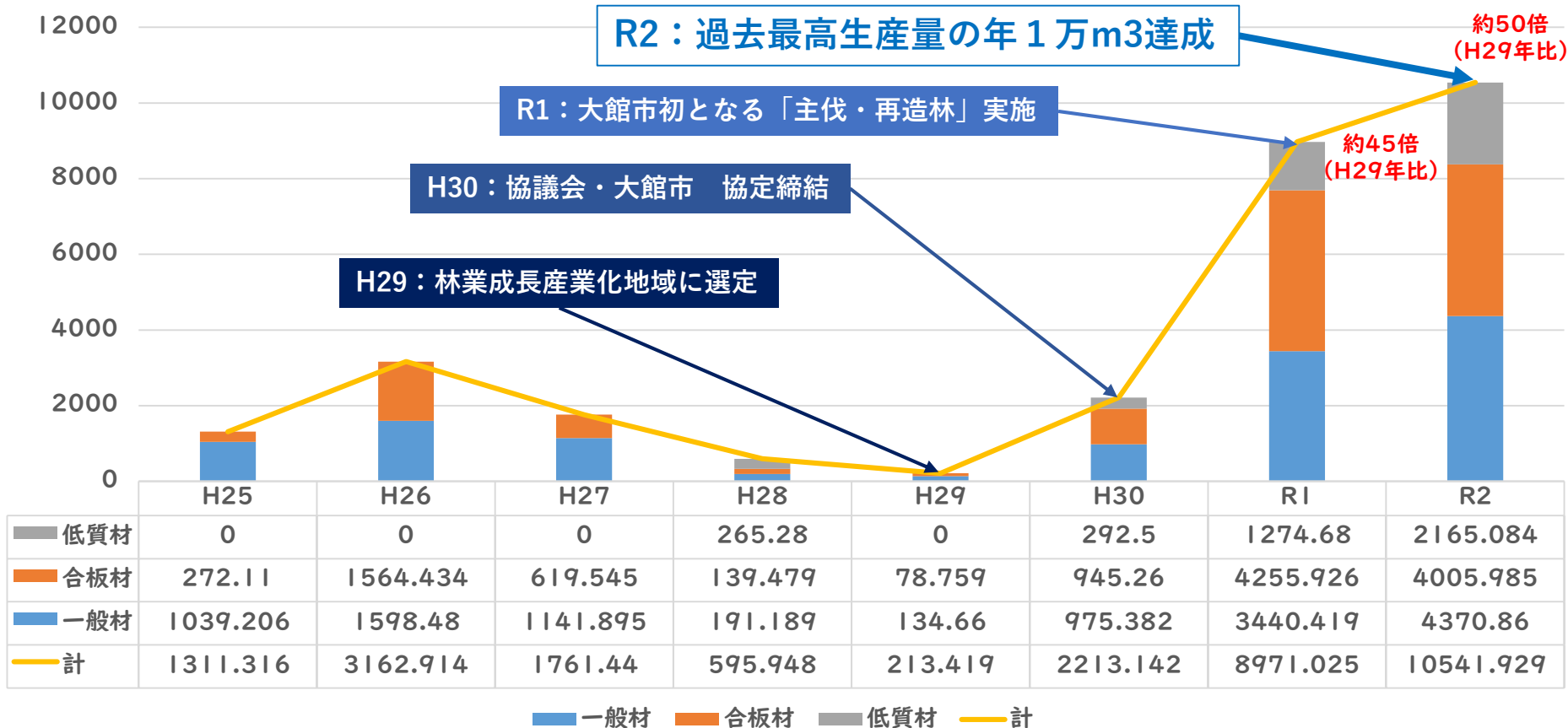


大館市有林での施業状況（一貫作業システム）

川上（素材生産）

大館市有林 施業状況

令和元年度：主伐・再造林A=8.05ha、間伐A=29.91ha
 令和2年度：主伐・再造林A=11.25ha
 令和3年度：主伐・再造林A=4.00ha、間伐A=55.10ha



大館市有林 素材生産量の推移 (H25～R2) ※協定以外の市発注業務分含む

川上（再造林・苗木生産推進）

苗木生産 施設整備

平成29年度:コンテナ苗生産施設(容器5,000個)

平成30年度:コンテナ苗生産施設(散水装置、培土圧入機、
苗抜取機、その他資材)

令和元年度:コンテナ苗生産施設(散水装置)



育苗施設(ビニールハウス)



散水装置(スプリンクラー)

指標	取組前 (H28)	H29	H30	R1	R2	効果(H28⇒R2)
再造林面積(ha)	31	81	127	127	117	約3.7倍
苗木出荷本数(千本)	500	850	892	924	1032	約2.0倍

大館北秋田地域構想 達成目標進捗管理表※再造林面積…民有林・国有林実施面積

川中（流通販売）

原木
流通販売
(協定フィールド)

令和 元年度: 8,080m³
(一般材3,190m³、合板材3,790m³、低質材1,100m³)

令和 2年度: 4,120m³
(一般材1,171m³、合板材1,988m³、低質材962m³)

○効果①: 市有林材の流通広域化

取組前

種類	主な流通販売先
一般材	大館北秋田森林組合
合板材	秋田プライウッド
低質材	北秋容器

<取組ポイント>

- ・地域内で取扱可能な径級は優先的に供給
- ・地域材指定案件に柔軟に対応

取組後

種類	流通販売先
一般材	大館北秋田森林組合
	沓澤製材所
	遠藤林業
	九島木材
	秋田製材協同組合 門脇木材
合板材	秋田プライウッド
	キーテック
低質材	北秋容器

○効果②: 販売平均単価UP※税抜、主伐箇所での実績

R1実績 9,191円/m³

R2実績 9,318円/m³

川上・川中（国有林との連携）

団地設定
路網整備
協調出荷

- 令和2年度：・大館市花岡繋沢地域森林整備推進協定書締結
【大館市有林(61ha)と国有林(280ha)による森林共同施業団地(341ha)を設定】
- 令和3年度：・林業専用道(規格相当) 繋沢線(延長L=640m)完成
・民国連携安定供給システム協定書締結
【大館市有林(500m³)と国有林(500m³)による合板材の協調出荷】



林業専用道(規格相当) 繋沢線



民国連携協調出荷(スギ合板材)

指標	取組前(H28)	H29	H30	R1	R2	効果(H28⇒R2)
路網密度(m/ha)	17.9	18.6	19	19.6	20.0	+2.1m/ha

大館北秋田地域構想 達成目標進捗管理表

川中（木材加工）

木材加工 施設整備

平成30年度：木材加工流通施設等整備（木材加工施設装置一式、木材乾燥機2基、その他一式（高速モルダー、スタッカー装置、モルダー搬送ラインほか）、ショベルローダー1台）



木材乾燥機



多彩な木材製品

川下（木材利用）

パークレストラン

キュージーヌ

フランセーズラ・シャンス

<木造2階建て／延床面積約2,600㎡>

林業成長産業化協議会の会員（物林株）が
受託する指定管理案件での施主／建築物件

- ・プレカット工場より4mの下地材注文
- ・設計図を見直し、予定量の9割が3.65m
で対応可能と判明
- ・県内の製材向け造材規格が主に3.65m

歩留まり向上・経費削減につながった

秋田スギ供給実績

・下地材 15m³



川下（木材利用）

渋谷区子育てネウボラ

<鉄骨造8階建て／延床面積約4,500m²>

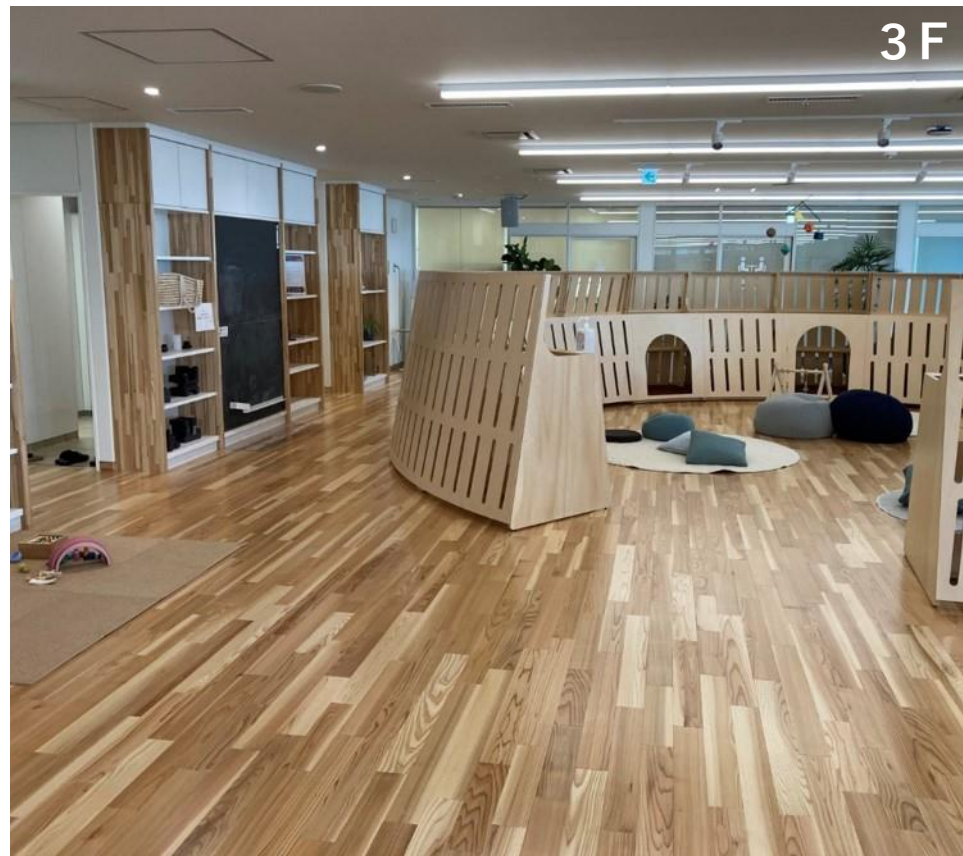
渋谷区木材利用推進方針（R2.4～）

<使用する木材>

- ア 防災協定締結自治体の木材
- イ 東日本大震災被災自治体の木材
- ウ 多摩産材
- エ 森林認証材

渋谷区・大館市防災協定締結

平成13年1月24日



秋田スギ供給実績

- ・ 3Fフローリング約2,270m²
- ・ 7F床暖房用複合フローリング約5,600m²

秋田スギ調達に関する経費について
森林環境譲与税を充当（渋谷区）

川下（木質バイオマス利用）

木質
バイオマス
利用施設

平成30年度：木質資源利用ボイラー（ペレットボイラー）1台、
燃料投入施設1台、熱交換器1台、吸収冷凍機一式、
熱利用配管一式



木質ペレットボイラー（秋田犬の里）



小型木質バイオマス発電機（ボルター秋田）

指標	取組前 (H28)	H29	H30	R1	R2	効果 (H28⇒R2)
木質バイオマス出荷量 (m3)	40650	43900	45330	54097	75209	約1.85倍

大館北秋田地域構想 達成目標進捗管理表

川下（普及）

AKITASUGIツーリズム

【令和元年度】
『日本の「木の文化」の創造・発信及び
来日観光客等に向けた「木のおもてなし」』

⇒来日観光客等を想定したツーリズムを開催

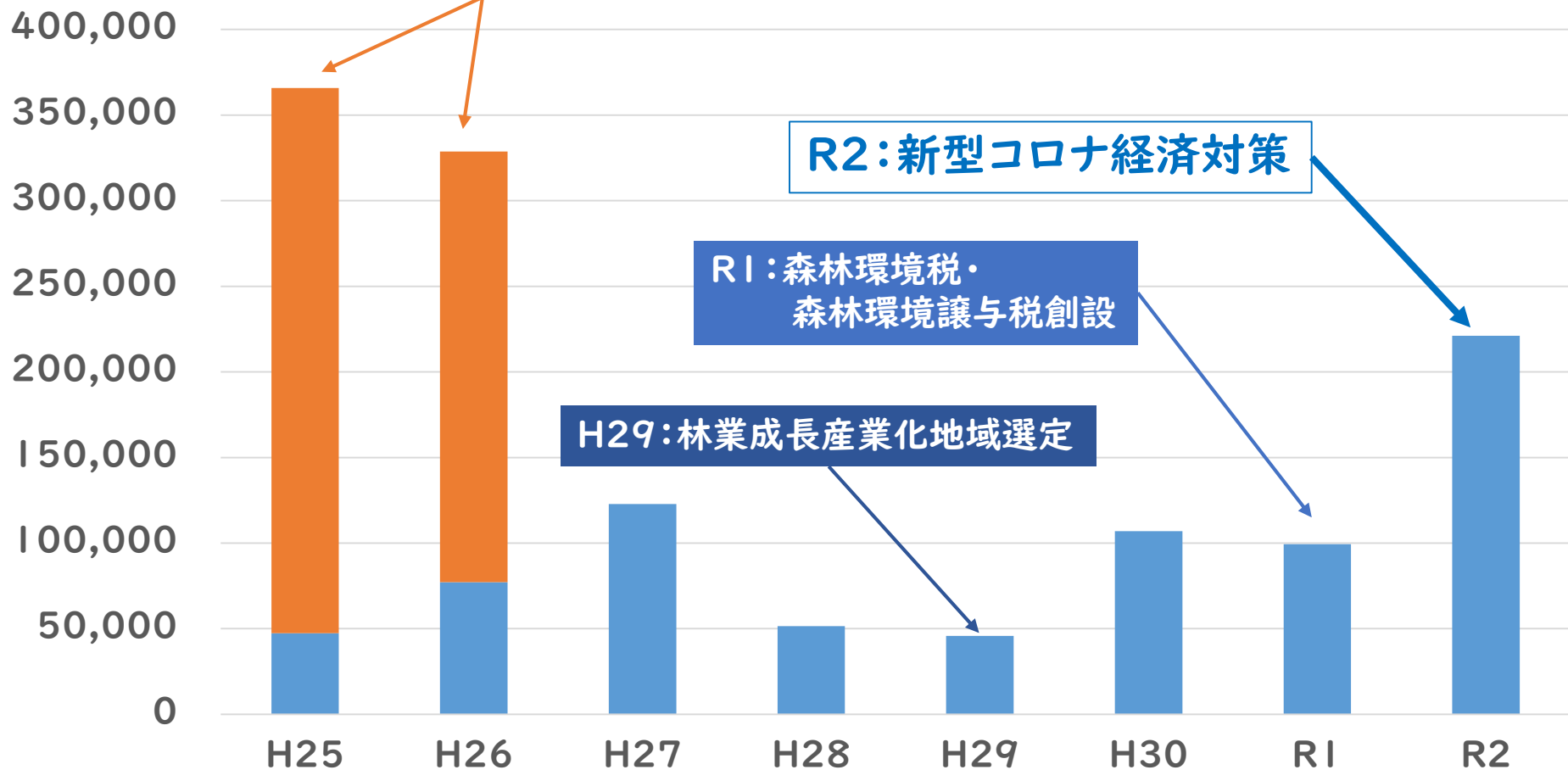
- i 「天然秋田スギと歴史の道」矢立峠散策会
～「秋田スギ」の美しさ・歴史を感じる～
- ii 「旧桜場文蔵邸 桜櫓館」見学
～「秋田スギ」空間を体験する～
- iii 「大館郷土博物館」見学
～「秋田スギ」と地域の関わりを知る～
- iv 「伝統工芸品製作体験」
～「秋田スギ」を五感で感じる～

- ・ 18か国31名の幅広い層からの参加
- ・ 「大館曲げわっぱ」の製作体験が人気



大館市：主要予算執行状況（林政）

H25～26：釈迦内産業団地整備



単位：千円

365,883

328,683

122,842

51,519

45,843

106,983

99,428

221,151

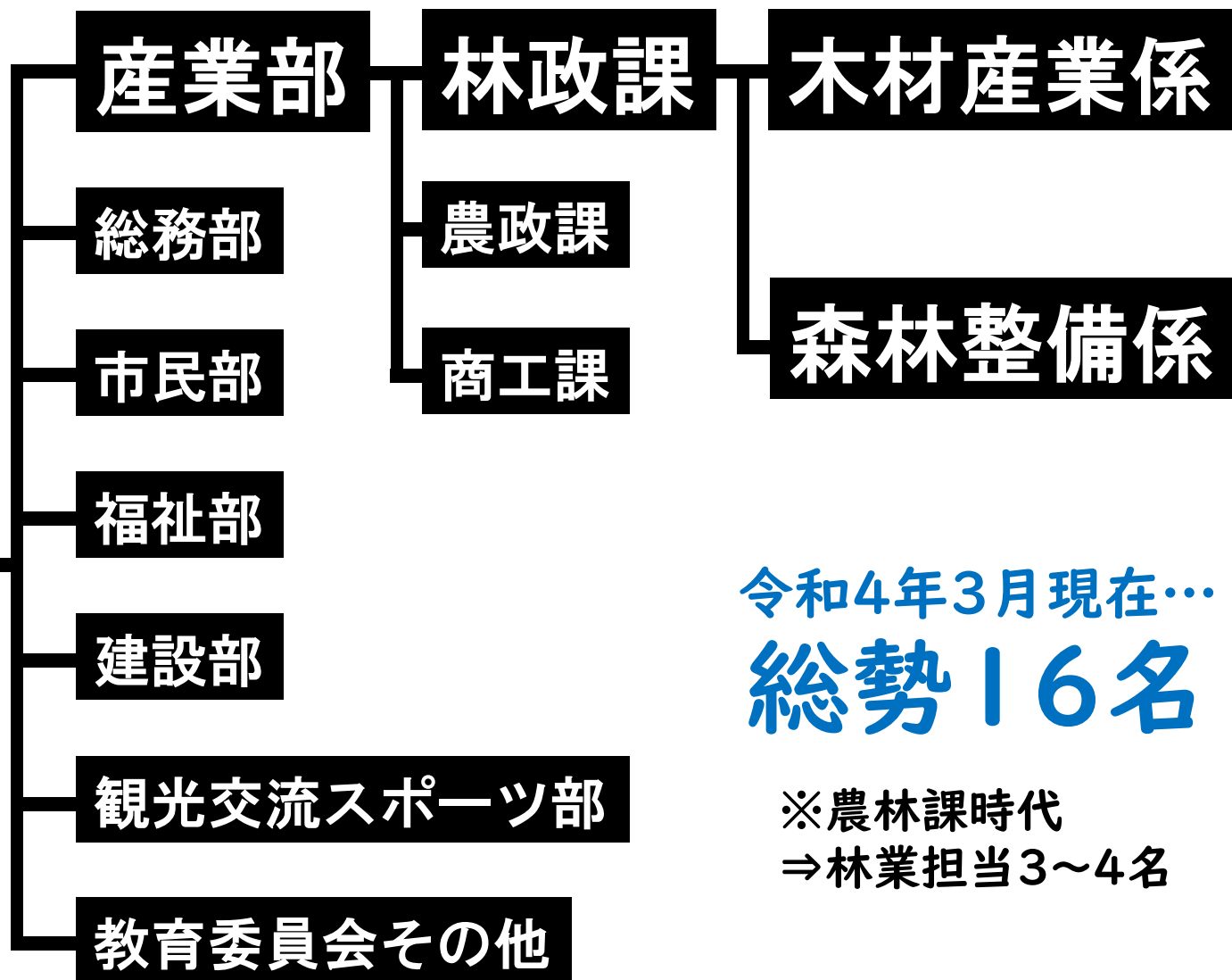
(出典：大館市「主要施策の執行状況とその成果」より集計※災害対策費除く)

大館市：林政課新設（R2～）



市長

副市長
理事

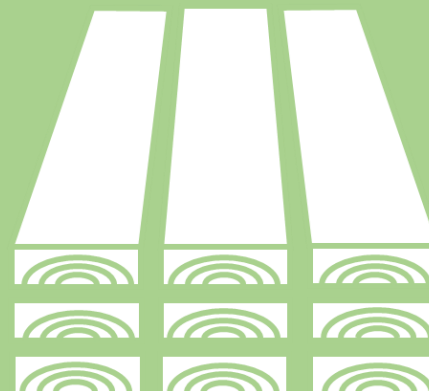


令和4年3月現在…

総勢16名

※農林課時代
⇒林業担当3～4名

3 これからの取組



今後について（会員構成）

<平成29年度～令和3年度>

31会員
4オブザーバー

- ・森林組合
- ・苗木生産者
- ・製材・加工事業者
- ・木材需要者
- ・木質バイオマス事業者
- ・木材流通事業者
- ・学識経験者
- ・行政機関（市・国・県）


<令和4年度（予定）～>

68会員
6オブザーバー

- ・森林組合
- ・苗木生産者
- ・製材・加工事業者
- ・木材需要者
- ・木質バイオマス事業者
- ・木材流通事業者
- ・学識経験者
- ・行政機関（市・国・県）
- ・教育機関
- ・住宅事業者
- ・建築設計関係者
- ・家具・工芸事業者
- ・IT・ICT関連事業者

※R4.3.22現在

今後について（活動の全体像）



活動	取組	内容等
合意形成	協議会開催	理念の共有、プロジェクト・公共事業等に関する意見交換
人材育成	研修会・セミナー開催	技術力向上・ノウハウ共有
調査研究	先進地視察 ワーキンググループ	優良事例調査、課題解決
社会実装	プロジェクト立案・実行 プロジェクトチーム形成	ビジネスモデル形成 ビジネスマッチング
地域貢献	普及啓発・広報	ホームページ・動画配信 イベント開催等

取組の方向性：川上分野

グリーンインフラ整備、 森林整備によるCO2吸収

⇒ 新たな需要への対応と再造林推進

- ・森林の集約化とスマート林業による作業効率化
- ・再造林や保育を支援する仕組みづくり、苗木安定供給

⇒ 民国連携・森林共同施業団地拡大

- ・新たな大館市森林整備計画の樹立と実行監理の推進
- ・民有林事業への公有林（市有林・国有林）の協力

取組の方向性：川中・川下分野

WOOD CHANGE!、 木材利用によるCO2固定化

⇒木材サプライチェーン：地産外商

- ・新たな販路情報等の収集及び共有
- ・民間企業との木材利用協定（改正木促法関連）

⇒木材サプライチェーン：地産地消

- ・公共施設、一般住宅における地域材利用促進
- ・地域材利用事例の発信⇒都市部へのPR

取組の方向性：共通

未来の人材確保と 木材に関わる業界の発展

⇒ 人材雇用・育成と労働災害防止化

- ・職場環境の改善、若手の研修機会の創出
- ・労働安全対策、優良事例の共有

⇒ 積極的な情報発信と仲間づくり

- ・林業・木材利用等の体験機会の創出や情報発信
- ・他地域企業・異業種や防災協定都市等との連携

4 最後に



ご清聴ありがとうございました

伐ったら、植える



秋田スギのふるさと、ふたたび

大館北秋田地域
林業成長産業化協議会



おおだてし

大館市

匠と歴史を伝承し
誇りと宝を力に変えていく
「未来創造都市」